

# 第 3 7 回串間市農業委員会定例総会

日 時 平成 2 9 年 6 月 3 0 日 (金) 開始 1 5 : 0 0 終了 1 6 : 2 0

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 1 9 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番 (会長代理)	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
6 番	欠 員	1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	欠 員	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 0 名

議事録署名委員 5 番 内田 政秀 1 3 番 谷口 利則

## 議事日程

第 1	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 2	議案第 2 3 7 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 3	議案第 2 3 8 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 4	議案第 2 3 9 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 5	議案第 2 4 0 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 6	議案第 2 4 1 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・認定農業者)
第 7	議案第 2 4 2 号	串間市農業委員会規則及び串間市農業委員会委員の被服貸与に関する規程の一部改正並びに法第 27 条第 1 項に基づく農業委員会の指導に関する手続規程の廃止について

出席事務局	5 名	事務局長 吉国 保信	次長 河野 あずさ
		調整係長 酒井 尋	主任技師 古屋 雅史
			主事 川畑 裕

議長（会長）	ただいまから、第３７回農業委員会定例総会を開催いたします。本日の出席委員は１９名であります。
議長（会長）	<p><b>議事録署名委員の指名</b></p> <p>本総会での議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>議事録署名委員は、５番 内田政秀 委員、１３番 谷口利則 委員にお願いします。</p>
議長（会長）	ただちに議案審議に入ります。
議長（会長）	<p><b>報告：農地法第１８条第６項の規定による届出について</b></p> <p>まず報告、農地法第１８条第６項の規定による届出について、事務局より報告させます。</p>
事務局	<p>農地法第１８条第６項の規定による合意解約について報告いたします。</p> <p>今回の合意解約は１件でございます。内容といたしましては、借人からの申し出が解約の理由となっております。</p>
議長（会長）	報告はお聞きのとおりでございます。
議長（会長）	<p><b>議案第２３７号：農地法第３条の規定による許可申請について</b></p> <p>次に議案２３７号は、農地法第３条の規定による許可申請についてであります。</p> <p>それでは議案２３７号、受付番号１番から３番の３件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第２３７号、農地法第３条の規定による許可申請は、受付番号１番と２番の解除条件付使用貸借権の設定に関する２件と、受付番号３番の所有権移転に関する１件の合計３件であります。受付番号１番につきましては、所有者死亡により相続人代表による申請となりますが、権利を有するすべての者のうち、２分の１を超える同意があるため問題ありません。</p>

事務局

それでは先に、受付番号３番の１件について説明します。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第３条第２項各号の不許可の事由につきましては、

- 「第１号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合
- 「第３号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること
- 「第４号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合
- 「第５号」 権利取得を含めた経営農地が５０アールに達しない場合
- 「第６号」 今回の申請農地を転貸しようとする場合
- 「第７号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合

であり、農地法第３条第２項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。

次に、受付番号１番と２番の２件の解除条件付使用貸借権の設定について説明します。まず、この２件を条件付とした理由につきましては、受人は埼玉県出身者であります、高鍋町で開催された「みやざき農業実践塾」で、平成２７年７月から平成２８年６月までの１年間に技術習得をされたあと、本市での就農を希望されました。しかし、本市に親戚等がいらないことから、農地基盤・技術指導等の支援が期待できず、就農後の営農継続が懸念されるため、今後、受人が安定した農業経営を行うための支援が必要であると判断したところでございます。農業委員会の所掌業務として、農業委員会等に関する法律第６条第２項に「新規参入の促進を通じた地域農業の発展に寄与すること」、同条第３項に「農業経営の合理化を支援する取り組みとして、農業者の自立等を促進すること」が業務でありますことから、条件付貸借であれば毎年「農地等の利用状況報告書」の提出が義務付けられますので、農地利用状況及び経営状況を把握することで、通年はもちろん経営困難時には早期対策や指導を行うことができると判断されることから、受人の自立した営農継続を支援するため、条件付貸借としたところでございます。

次に、解除条件付貸借の許可要件について説明します。解除条件付貸借の許可要件につきましては、先ほど受付番号３番で説明しました、農地法第３条第２項第４号「農業経営に必要な常時従事に関すること」を除く、各号の要件に該当しないことに加え、農地法第３条第３項

「第１号」農地を適正に利用していないと認められる場合には貸借の解除をする旨の条件が書面による契約

事務局

に記載されていること

「第 2 号」地域の農業における他の農業者との適切な役割分担の下に継続的かつ安定的に農業経営を行うと見込まれること

の規定に該当する必要があります。まず、農地法第 3 条第 3 項第 1 号につきましては、「農地使用貸借契約書に農地を適正に利用していない場合の貸借解除に関する旨の条件」が記載されています。また、同項第 2 号につきましては、「地域農業に関する話し合いへの活動参加、農道・水路・ため池等の共同施設の取り決めの順守、鳥獣被害対策への協力、地域の除草作業及び水路清掃等の共同作業における積極的な参加が記載された確約書」が提出されているため問題ありません。

次に、受付番号 1 番と 2 番の 2 件の権利取得を含めた経営農地の合計面積は 1, 7 3 0 m<sup>2</sup>であることから、農地法第 3 条第 2 項第 5 号に規定にされている「5 0 アールに達しない場合」に該当するため、不許可の事由に該当します。しかし、今回の申請はハウスを利用したキュウリの集約栽培を行うため、農地法施行令第 2 条第 3 項第 1 号「権利取得後における耕作の事業が草花等の栽培でその経営が集約的に行われるもの」に当たることから、経営面積が 5 0 アール以下ではありますが、不許可の例外に該当するため問題ありません。

以上のことから、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、農地法第 3 条第 2 項各号に該当しておらず、同条第 3 項各号の要件に必要な解除条件を付した貸借契約書並びに確約書が提出されているため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、本城地区委員会より受付番号 1 番から 2 番の 2 件の説明をお願いします。

1 7 番

議案第 2 3 7 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、本城地区は受付番号 1 番から 2 番までの解除条件付使用貸借権の設定に関する 2 件であります。

受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、受人が同じでありますので併せて説明いたします。受人は農業経営を行いたく、平成 2 7 年度に「みやざき農業実践塾」で勉強され、本市で施設キュウリ栽培を行うため、中古ハウスを探していたところ、今回の申請地を知人より紹介されたことから申請に至ったものであります。栽培については、申請地の隣接で同じくキュウリ栽培を行っている知人の指導を受けるとともに、農協の部会にも加入する

1 7 番

とのことでありますので、技術習得については問題ないと考えます。また、栽培に当たっては、申請地周辺が水稲地帯でありますので、農薬使用は施設内で行うとともに、栽培基準に沿って行うことから周囲への影響はないと考えます。農業機械については、トラクターを知人より借受け、管理機・動噴は購入予定です。農業従事状況については、農繁期には婚約者の母が手伝うということであり問題ないと考えます。また、今回は解除条件を付した使用貸借契約書と確約書の提出がありますが、内容をよく理解され、地域の農業の清掃などの共同作業への積極的な参加、利用施設の取り決めの順守、地域の農業の維持・発展のための話し合い活動へも参加されるとのことですので問題ありません。

以上、本城地区委員会において、受付番号 1 番から 2 番の 2 件の解除条件付使用貸借権の設定を慎重に審議いたしました。2 件とも農地法第 3 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

次に、市木地区委員会より受付番号 3 番の 1 件の説明をお願いします。

2 2 番

議案第 2 3 7 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件でございます。

受付番号 3 番については、渡人である父から受人である娘へ贈与を行うものであります。申請地にはこれまでどおり露地キンカンの経営を行っていくため、農業機械の保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業的経営を行っています。農業従事状況についても、本人が 1 0 0 日以上、父が 2 0 0 日以上の従事日数があり、農繁期には 2 名を臨時的に雇用しているため問題ないと考えます。周辺地域は樹園地及び山林であるため、農薬の使用方法での問題はないと考えます。

以上、担当委員より市木地区委員会で報告を受け、受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件について慎重に審議してまいりましたが、農地法第 3 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありませんので、本会議でのご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第 2 3 7 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

議長（会長）	<p>ないようですので、議案第２３７号、受付番号１番から３番の３件について、決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第２３７号、受付番号１番から３番の３件は、許可することに決定します。</p>
議長（会長）	<p><b>議案第２３８号：農地法第４条第１項の規定による許可申請に対する意見について</b></p> <p>次に議案第２３８号は、農地法第４条第１項の規定による許可申請に対する意見についてであります。それでは議案第２３８号、受付番号１番から５番の５件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第２３８号、農地法第４条第１項の規定による許可申請は、受付番号１番から５番の５件であります。農地法第４条第６項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、</p> <p>「１号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合</p> <p>「１号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合</p> <p>「２号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合</p> <p>「３号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合</p> <p>「４号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。</p> <p>受付番号１番から５番の５件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため「第２種農地」に区分されることから、農地法第４条第６項１号ロには該当しておりません。</p> <p>したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号１番から５番の５件につきましては、農地法第４条第６項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われる</p>

事務局	ます。皆さんのご審議をお願いいたします。
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号１番の１件の説明をお願いします。</p>
８番	<p>議案第２３８号、農地法第４条第１項の規定による許可申請に対する意見について、福島地区は受付番号１番の１件であります。</p> <p>受付番号１番につきましては、申請人は相続により申請地を取得しましたが、非農家のため管理できないまま遊休農地となり、その後、地元農業者へ作付依頼を行いました。農地復旧を行う必要があったため、耕作者を見つけることができなかったことから、農地としての利活用を断念され、申請地に太陽光システム敷地利用として申請されたとのことです。申請地は農地が隣接していますが、既存の畦を利用して土砂流出を防止するとともに、周囲にフェンスを設置するため問題ありません。雨水は隣接する北東側の既存側溝へ排水させ、雑草が繁茂しないよう防草シートを設置するため、周辺農地や作物への影響はありません。</p> <p>以上、福島地区委員会において、受付番号１番の１件を慎重審議してまいりましたが、農地法第４条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。</p>
議長（会長）	次に、大東地区委員会より受付番号２番の１件の説明をお願いします。
１６番	<p>議案第２３８号、農地法第４条第１項の規定による許可申請に対する意見について、大東地区は受付番号２番の１件でございます。</p> <p>受付番号２番につきましては、申請地の周辺は山林に囲まれたことにより日照条件が悪化したこと、併せて鳥獣被害のため耕作が困難となったことから、申請者は昭和５７年に植林したため、今後も定期的の下刈り・枝打ち・間伐等の作業を行い、管理していかれるとのことです。申請地は山林に囲まれています。西側に隣接する畑があります。この畑は申請地より２メートルほど高台にあるため、日照不足等の影響はなく、雨水は地下浸透及び東側の河川へ流出させているため、土砂流出・崩壊などの災害を発生させる恐れは考えられません。</p> <p>以上、大東地区委員会において、受付番号２番の１件について慎重審議してきましたが、農地法第４条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。</p>
議長（会長）	次に、本城地区委員会より受付番号３番から４番の２件の説明をお願いします。

17番

議案第238号、農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について、本城地区は受付番号3番と4番の2件であります。

受付番号3番については、申請地が狭小であり、民家と隣接していることから農薬散布も難しく、借り手もないことから、農地としての利活用が困難であるため、観賞用の樹木を植栽しており、今後も同様に管理していくため申請されています。境界にはブロック積みを行っているため、土砂流出などの恐れはありませんし、雨水は自然浸透及び南側に隣接する道路側溝に排出させているため、周囲への影響を及ぼす恐れはなく問題ありません。

次に受付番号4番については、宅地までの既存道路として昭和55年頃から申請地を使用していましたが、地目が農地のままになっていたため申請されたものです。申請地はアスファルト舗装が行われており、雨水は道路側溝へ排出されるため、周辺へ影響を及ぼすおそれはありません。また、今回の申請地は市道に繋がっていることから、串間市との境界立会も実施済みであるため問題ありません。

以上、本城地区委員会において、受付番号3番から4番の2件について慎重審議してきましたが、農地法第4条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

次に、市木地区委員会より受付番号5番の1件の説明をお願いします。

22番

議案第238号、農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について、市木地区は受付番号5番の1件でございます。

受付番号5番につきましては、申請地の周辺が山林化したことにより日照条件も悪く、獣害により耕作困難となったことから植林し、今後も山林として管理していくため申請されています。申請地周辺に農地はなく、申請人が管理する山林と一緒に下刈り・枝打ちを行い、また、雨水などは自然浸透で対処できるため、転用による土砂流出はないと考えます。

以上、市木地区委員会において、受付番号5番の1件について慎重審議してきましたが、農地法第4条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりでございます。

これより議案第238号、受付番号1番から5番の5件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

（なしの声）

議長（会長）

ないようですので、議案第238号、受付番号1番から5番の5件を決定してよろしいでしょうか。



( 異議なしの声 )

議長 (会長)

異議なしということですので、議案第 2 3 8 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件は許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

**議案第 2 3 9 号：農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について**

議長 (会長)

次に議案第 2 3 9 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見についてであります。それでは議案第 2 3 9 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 3 9 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請は、受付番号 1 番から 4 番の所有権移転に関する 4 件と、受付番号 5 番の使用貸借権の設定に関する 1 件の合計 5 件であります。

農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が団集的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号 1 番の申請地農地区分は、農用地域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号に規定されている、「第二種住居地域」に該当することから「第 3 種農地」に区分されますので、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロには該当していません。

次に受付番号 2 番の農地区分は、農用地域内にある農地ではありませんが、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロにあります、団集的に存在する農地、その他良好な営農条件を備える「第 1 種農地」であることから、不許可の

事務局

事由に該当することになります。しかし、今回の申請は、農地法施行令第4条第1項第2号イ及び農地法施行規則第33条第1項第4号にあります「住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において、居住する者の日常生活上または業務上必要な施設で集落に接続して設置されるもの」に当たることから、申請地は「第1種農地」であります。不許可の例外に該当しています。

次に受付番号3番と4番の2件の農地区分につきましては、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。

次に受付番号5番の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地であります。2筆のうち1筆が平成29年5月26日付で農業用施設用地へ用途変更され、残り1筆も同年6月23日付で同じく農業用施設用地へ用途変更されております。今回、6月22日に発送しました議案書には、用途変更への手続き中であつたことから予定と記載しておりますが、6月23日に公告が完了しており問題ありません。

したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番から5番の5件につきましては、許可要件をすべて満たしていると思われまふ。皆さんのご審議をお願いいたします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号1番から2番の2件の説明をお願いします。

8 番

議案第239号、農地法第5条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番と2番の所有権移転に関する2件でございます。

まず、受付番号1番につきましては、受入は借家に家族4人で居住しているが、子供の成長とともに手狭になったため、申請地に個人住宅を建設する計画であります。受入は許可次第、本年9月1日から造成工事にかかり、翌年の3月31日までに建築工事を完了させたいとのことあります。申請地周辺は住宅化が進んでいる地域であり、周囲には隣接する農地が西側と東側にありますが、境界にはブロック積みを行うため、土砂流出などによる被害を与えることはありません。なお、雨水は北側の側溝へ流し、生活雑排水は北側に整備されている下水道に流す計画でありますので問題ないと思われまふ。

次に受付番号2番については、受入は借家に家族4人で居住しているが、子供の成長とともに手狭になったため、申請地に個人住宅を建設する計画であります。受入は許可次第、本年8月14日から造成工事にかかり、本年10月16日までに建築工事を完了させたいとのことあります。申請地の北側が農地と隣接していますが、境界にブロックを積み、生活雑排水は合併浄化槽を経由し、雨水とともに西側道路側溝へ排出するため、転用による周辺農地の営農条件に支障を及ぼすような恐れはないと考えまふ。

8 番	<p>以上、福島地区委員会において、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について慎重審議してきましたが、すべてが農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に、大東地区委員会より受付番号 3 番から 5 番の 3 件の説明をお願いします。</p>
1 6 番	<p>議案第 2 3 9 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請について、大東地区は受付番号 3 番から 5 番の 3 件でございます。</p> <p>まず、受付番号 3 番につきまして、申請地の周囲は山林化し、日照問題等で耕作不便となったことから、現在は遊休農地となっている申請地を渡人が相続しました。その申請地を林業・製材会社である譲受会社が、製材工場に近く製材用及びバイオマス発電用の丸太等を増産するため、取得後は植林を行う申請であります。申請地周辺には農地がないことから、営農条件への支障を及ぼすようなことはなく、雨水については自然浸透で対応できるため、問題ありません。また、申請地の一部が JR 線路敷に隣接しているところがありますが、すでに鉄道事業部と植栽箇所及び管理方法を協議しているため問題ありません。</p> <p>次に受付番号 4 番につきまして、申請地は宅地に囲まれた三角形の狭小な農地であることから、農地としての利活用が困難であるため、申請地の隣接に居住する受人が、物置スペースが不足するため倉庫を建築し、残地は庭園として利用していくとのことです。倉庫建築に当たり、雨水は受人の住宅側へ排水パイプを設置し、既存側溝へ排出させるため問題ありません。</p> <p>次に受付番号 5 番につきまして、受人世帯は酪農業を営んでいますが、今回、畜産の補助事業を活用して、4 0 頭から 1 0 0 頭規模に拡大するため、既存の牛舎の東側に渡人である父の農地を使用貸借し、新たに牛舎及び堆肥舎を建築する計画です。申請地の周辺は、父である渡人の農地であります。営農に支障を及ぼさないよう、3 メートル以上の距離を置いて建築を行うため問題ないと考えます。家畜の糞尿については、新たに設置する貯留槽にて発酵させ、臭気のない液体肥料として利用するとともに、固形糞尿は乾燥糞として敷料に利用するため、畜舎敷地外に流出する恐れもなく、雨水は雨樋及び排水パイプを設置し、南側にある排水路に流すため、周囲に影響を及ぼす恐れもなく問題ありません。</p> <p>以上、大東地区委員会において、受付番号 3 番から 5 番の 3 件を慎重審議してきましたが、3 件すべてが農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p>

議長（会長）	<p>これより議案第２３９号、受付番号１番から５番の５件について質疑に入ります。質疑はございませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>ないようでございますので、議案第２３９号、受付番号１番から５番の５件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第２３９号、受付番号１番から５番の５件は許可相当とし、受付番号５番の１件は、宮崎県常設審議委員会へ意見聴取を求め、受付番号１番から４番の４件は、意見を付して県へ進達いたします。</p>
議長（会長）	<p><b>農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案</b></p> <p>次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認についてであります。審議に入ります前に、あらかじめ市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。</p>
事務局	<p>平成２９年６月分につきましては、串間市長より平成２９年６月２２日付、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の承認が求められております。</p> <p>内容につきましては、議案第２４０号・所有権移転が２件・面積が６，５５３㎡、議案第２４１号・受人が認定農業者である利用権設定が５件・面積が１１，００８㎡でございます。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>それでは、ただいまから市からの提案について審議に入ります。</p>
議長（会長）	<p><b>議案第２４０号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転</b></p> <p>議案第２４０号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認、所有権移転分についてであります。</p>

議長（会長）	<p>審議に入ります前に、当該議案に 15 番委員に関係する事案がありますので、農業委員会等に関する法律第 31 条「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了までの退席をお願いします。また、関係議案の終了後に入室・着席をお願いします。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>（ 15 番委員 退室 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>それでは議案第 240 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件ありますが、先に受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議を行いたいと思います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 240 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は受付番号 1 番と 2 番の 2 件ありますが、先に受付番号 1 番の 1 件を説明いたします。</p> <p>「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項、</p> <p>第 1 号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること</p> <p>第 2 号イ) 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること</p> <p>第 2 号ロ) 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること</p> <p>であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番の 1 件は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、福島地区委員会より受付番号 1 番の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。</p>
8 番	<p>議案第 240 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号 1 番の 1 件でございます。</p>

8 番	<p>受付番号 1 番の 1 件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番の 1 件については、該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくお願ひします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。これより議案第 240 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>ないようですので、議案第 240 号、受付番号 1 番の 1 件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということでありますので、議案第 240 号、受付番号 1 番の 1 件を承認して市へ通知します。暫時休憩します。</p> <p>（ 15 番委員 入室・着席 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>それでは、議案第 240 号、先に審議しました受付番号 1 番の 1 件を除く、受付番号 2 番の 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 240 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分の受付番号 2 番の 1 件を説明します。</p> <p>事務局によります申請書類の審査において、受付番号 2 番の 1 件につきましては、先ほど受付番号 1 番で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われまふ。皆さんのご審議をお願いいたします。</p>

議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、福島地区委員会より受付番号２番の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。</p>
８番	<p>議案第２４０号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号２番の１件でございます。</p> <p>受付番号２番の１件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号２番の１件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>これより議案第２４０号、受付番号２番の１件について質疑に入ります。質疑はありますか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>ないようですので、議案第２４０号、受付番号２番の１件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということでありますので、議案第２４０号、受付番号２番の１件を承認し市へ通知します。</p>
議長（会長）	<p><b>議案第２４１号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分</b></p> <p>次に議案第２４１号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の利用権設定・認定農業者分についてであります。</p> <p>それでは議案第２４１号、受付番号１番から５番の５件を議題といたしまして、審議を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>

事務局	<p>議案第２４１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分は受付番号１番から５番の５件であります。</p> <p>事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番から５番の５件は、先ほど議案第２４０号で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p>
	<p>ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号３番を除く、受付番号１番から５番の４件の説明をお願いします。</p>
８番	<p>議案第２４１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分、福島地区は受付番号３番を除く、受付番号１番・２番・４番・５番の４件です。</p>
	<p>この４件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番・２番・４番・５番の４件は、該当要件をすべて満たしているため何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に、大東地区委員会より受付番号３番の１件の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。</p>
１６番	<p>議案第２４１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分、大東地区は受付番号３番の１件でございます。</p>
	<p>受付番号３番の１件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、大東地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号３番の１件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p>
	<p>ただいまから議案第２４１号、受付番号１番から５番の５件について質疑に入ります。質疑はございませんか。</p>



	( なしの声 )
議長 (会長)	ないようでございますので、議案第 2 4 1 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件について承認してよろしいでしょうか。
	( 異議なしの声 )
議長 (会長)	異議なしということですので、議案第 2 4 1 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件を承認し、市へ通知します。
	<div> <p>議案第 2 4 2 号：①串間市農業委員会規則の一部を改正する規則  ②串間市農業委員会委員の被服貸与に関する規程の一部を改正する規程  ③法第 2 7 条第 1 項に基づく農業委員会の指導に関する手続規程を廃止する規程</p> </div>
議長 (会長)	次に議案第 2 4 2 号は、串間市農業委員会規則及び串間市農業委員会委員の被服貸与に関する規程の一部改正、並びに法第 2 7 条第 1 項に基づく農業委員会の指導に関する手続規程の廃止についてであります。それでは、議案第 2 4 2 号、規則等の一部改正及び廃止について、事務局より提案理由の説明を求めます。
事務局	<p>議案第 2 4 2 号、串間市農業委員会規則及び串間市農業委員会委員の被服貸与に関する規程の一部改正、並びに法第 2 7 条第 1 項に基づく農業委員会の指導に関する手続規程の廃止についてご説明します。</p> <p>まず、今回の提案理由につきましては、関係法令の改正に伴いまして、所要の改正並びに規程廃止を行うため提案するものでございます。提案の内容につきましては、資料に沿って説明させていただきます。</p> <p>それでは、串間市農業委員会規則の一部を改正する規則についてご説明いたします。</p> <p>今回の改正概要につきましては、農業委員会等に関する法律の一部改正に伴いまして、農業委員の選出が公選制から任命制へ変更されたこと、農地等の利用の最適化の推進が必須業務に位置付けられたことの 2 点の改正に伴いまして、規則改正を提案するものでございます。</p> <p>施行期日につきましては、新農業委員の任命日と併せまして、平成 2 9 年 7 月 2 0 日からの施行をお願いするものでございます。</p> <p>今回の規則改正の内容につきましては、「第 2 条：会長及び会長代理の互選の方法」として、従来は農業委</p>

事務局

員会の一般選挙後に行われる初会で、会長及び会長代理の互選を行ってきましたが、公選制から任命制に法改正されましたので、会長等の互選を【市長が農業委員会の委員の任命後に行われる最初の会議で互選する】、という内容に変更しています。

次に「第3条：証票」につきましては、委員の皆さんに立入等で提示する委員証をお配りしていますが、その委員証を規則では証票として標記していますが、農業委員会等に関する法律では証明書と記載されていますので、こちらを農業委員会法に合わせて【証明書】に変更しています。

次に「第10条：議席の決定」につきましては、議席決定を一般選挙後初会の会議で議長が定めることになっていますが、これを【市長が委員を任命した後、最初に行われる総会】に変更しています。

次に「第19条：専門部会」につきましては、これまで農政・畜産・特産部会の3部会を設置しておりましたが、農業委員会法改正に伴い、農地等の利用の最適化が必須業務となること、今後は指針等を作成し、それに基づき農業委員会が活動を行うこととなりますので、3部会を【農地集積対策部会・遊休農地解消対策部会・農業委員会業務対策部会】として新たに設置し、各部会で業務方針及び活動計画の策定に向けた協議を行うことで、活動強化を図る体制を構築するため、今回変更しています。

次に「第20条：地区会」につきましては、法第6条第1項の次に【及び第2項】を追加しております。この第2項は農地等の利用の最適化業務に当たりますが、今後は遊休農地対策・担い手への農地集積・新規参入の促進に関して、地区会で取り組むこととなりますので追加したところです。

次に「第24条：分掌事務」につきましては、まず(22)は旧農業委員会等に関する法律第6条第3項に、「意見の公表や建議及び諮問に応じた答申」が規定されていまして、串間市農業委員会規則も併せて規定していましたが、今回の農業委員会等に関する法律の改正後削除され、新たに同法第38条として「関係行政機関等に対する農業委員会の意見の提出」が追加されたことから、規則も【農地等利用最適化推進施策の企画立案及び関係行政機関等への意見提出に関すること】に変更しております。

また、全体的に説明した箇所以外に変更している分につきましては、総務課の指導により漢字等の修正を行っていますし、「第26条：専決」についても、総務課指導により市長部局の課長専決に合わせて変更しています。

今回の串間市農業委員会規則については、事務局を含め説明した内容で改正をお願いします。

事務局

次に、串間市農業委員会委員の被服貸与に関する規程の一部を改正する規程についてご説明します。

改正理由につきましては、現行の農業委員に加え、新たに設置される農地利用最適化推進委員は、現場活動が主となることから、被服貸与を行う必要があるため改正を提案いたします。

施行期日につきましては、両委員の任期予定であります平成29年7月20日から施行したいと考えています。

次に大きく規程名称を変更しています。串間市農業委員会委員の次に【及び串間市農地利用最適化推進委員】

事務局

を加えております。それ以下の規程内容につきましては、農業委員と記載されていますが、このままではいきま  
すと農業委員のみが対象ということになりますので、農業委員及び農地利用最適化推進委員の両委員を合わせ  
て【委員】に変更しております。

また、最後の第6条に貸与品き損届と記載されている箇所がありますが、現在は漢字表記で【毀損】と標記  
しているため、総務課の指導も併せ変更していますので、説明した内容で改正をお願いします。

事務局

最後に、法第27条第1項に基づく農業委員会の指導に関する手続規程を廃止する規程についてご説明しま  
す。

まず、この法とは農業経営基盤強化促進法を指しています。今回、この規程を廃止する理由につきましては、  
平成21年の農地法改正により、遊休農地措置関係が農業経営基盤強化促進法から農地法に移管され、現在は  
国の指導措置に基づき実施していることから、公表の日からこの規程を廃止することをお願いするもの  
でございます。

この規程の具体的な内容につきまして、農業経営基盤強化促進法第27条第1項が削除される前は、遊休農  
地の措置は農業委員会が指導することとされており、市が策定しています基本構想の達成に資する見解から特  
に必要であると認めるときは、その区域内に存在する要活用農地の所有者等に指導する、と規定されていたた  
め、この規程を定めたところでありますが、そもそも農業経営基盤強化促進法の場合には、優良農地に影響を  
及ぼす恐れのある農地を対象としていました。しかし、平成21年の農地法改正においては、農地法第2条の  
2において、「農地について権利を有する者の責務として、農業上の適正かつ効率的な利用を確保しなければ  
ならない」と規定されたことから、すべての農地及びすべての遊休農地への指導が対象となったため、現在は  
農地法及び農林水産省通達に沿った利用状況調査や意向調査、解消指導を行っているところです。

そのため、本来であれば今回の規程は、早い段階で改正及び廃止等を行うべきでありましたが、今回の農業  
委員会等に関する法律改正に伴い、農業委員会に係る当委員会の規則等の条文をすべて確認したところ、  
この規程が残っていたため、今回廃止を提案するものでございます。

また、先ほど説明しましたように、現在遊休農地に関する活動は農地法及び農林水産省通達に沿って行っ  
ていますので、今回の規程を改正してまで残す必要はないと判断されることから、法第27条第1項に基づく農  
業委員会の指導に関する手続規程を廃止する規程を提案させていただきました。

以上、説明しました3点の規則等の一部改正及び廃止について、皆様のご審議をお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

それではただいまの説明に対し質疑に入ります。質疑はありますか。

（なしの声）

議長（会長）	<p>それでは、議案第２４２号、串間市農業委員会規則及び串間市農業委員会委員の被服貸与に関する規程の一部改正の２点について、お諮りいたします。</p> <p>先ほど、事務局から説明があった内容どおり、規則等の一部改正を行うことにご異議ありませんか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第２４２号、串間市農業委員会規則及び串間市農業委員会委員の被服貸与に関する規程の一部改正を提案どおり改正し、平成２９年７月２０日から施行することに決定いたします。</p>
議長（会長）	<p>次に、法第２７条第１項に基づく農業委員会の指導に関する手続規程の廃止について、お諮りいたします。</p> <p>先ほど、事務局から説明があった内容どおり、規程を廃止することにご異議ありませんか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第２４２号、法第２７条第１項に基づく農業委員会の指導に関する手続規程は、公表した日をもって廃止することに決定いたします。</p>
議長（会長）	<p>以上で議案審議は全部終了しました。慎重・審議、誠にありがとうございました。</p>